

平成31年・令和元年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価に関する報告書
(対象年度：平成30年度)

高萩市教育委員会

目 次

I	はじめに	
1	趣旨	1
2	点検及び評価の対象	1
3	点検及び評価の方法	1
4	外部評価委員	1
II	点検及び評価結果	
1	教育委員会の活動	2
2	教育委員会が管理・執行する事業	4
(1)	学校教育	4
(2)	生涯学習	16
(3)	市民文化	22
(4)	人権	28
III	外部評価委員会委員の意見	30
IV	参考資料	
	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	31

1 はじめに

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成20年4月1日施行）の施行により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用した点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に報告するとともに、公表しなければならないとされました。

このため、高萩市教育委員会では、法律が改正された趣旨に則り、より効果的な教育行政の推進を図るため、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書（平成30年度実績）」としてまとめ、議会に報告するとともに公表することとします。

2 点検及び評価の対象

本市の市政運営の基本である第5次高萩市総合計画「まちの安全・ひとの安心・しごとの活力 快適生活都市 高萩」及び教育委員会の運営の基本である「高萩の教育」における重点戦略を構成する施策のうち、平成30年度に教育委員会が実施した主な事務事業を点検及び評価の対象としました。

3 点検及び評価の方法

教育委員会が実施した事務事業を「1 教育委員会の活動」と「2 教育委員会が管理・執行する事業」に大別し、項目ごとに自己点検評価を行いました。

また、点検と評価の客観性を確保するために、事務局内部で実施した点検と評価報告について、教育に関し深い知識を有する者（外部評価委員）の意見を求めました。

4 外部評価委員

（敬称略）

氏 名	所 属
蛭 田 隆 久	元市校長会会長
黒 澤 み の り	市社会教育委員
堀 江 友 次	市体育協会理事

II 点検及び評価結果

1 教育委員会の活動

(1) 教育委員会の構成

	氏 名	任 期
教育長	大 内 富 夫	平成 30 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
教育長職務代理者	関 矢 光 良	平成 29 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
教育委員	鈴 木 智 恵 子	平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日
教育委員	鈴 木 幸 男	平成 26 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日 平成 30 年 10 月 1 日～令和 4 年 9 月 30 日
教育委員	増 子 恵 美	平成 28 年 10 月 1 日～令和 2 年 9 月 30 日
教育委員	佐 川 睦 子	平成 30 年 10 月 1 日～令和 3 年 9 月 30 日

(2) 平成 30 年度教育委員会月別開催状況

教育委員会では、付議された案件についての審議や報告等を行う定例会を毎月 1 回開催する他に、必要に応じて臨時会を開催しました。また、教育委員の意見交換や研修活動等の場として協議会を開催しました。

教育委員会では、20 件の議案と 5 件の報告について審議しました。人事案件や教育委員会規則の制定又は一部改正等について慎重かつ迅速な審議が適正に行われました。これらにおいては、本市の教育行政について様々な視点から建設的に議論されてきました。

教育委員会では、第 5 次高萩市総合計画で示された主要施策である「たくましさを育む「教育・文化」」の実現に向けて、様々な事業の展開に努めてきました。

(単位 回)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
臨時会	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

(3) 学校訪問

教育委員会と学校現場が互いに共通認識を持ち、より良い学校教育を推進することを目的として、学校園訪問を実施しています。教職員が実際に指導している様子や子どもたちの様子を把握するとともに、学校及び園での取組や課題について意見交換を行っています。

月 日	場 所
12月17日	松岡中学校、東小学校、第一幼稚園、東幼稚園
12月18日	高萩中学校、高萩小学校、秋山小学校、秋山幼稚園
12月20日	秋山中学校、松岡小学校、松岡幼稚園

(4) 教育委員研修

国・県・他自治体の取組等に触れる機会を設け、委員としての見識を深めるため、研修に参加してきました。

月 日	場 所	内 容
5月1日	日立市教育会館	県北市教育委員会連絡協議会定期総会 ・ 県北管内の教育行政について ・ 各市教育委員会の現状と課題
5月28日	水戸市総合教育研究所	茨城県市町村教育委員会連合会定期総会及び講演会 【講演】 「チームマネジメント～トップアスリートを育成する現場を事例として～」 講師 山口 香
10月3日	ホテルレイクビューー水戸	茨城県市町村教育委員会研修会 【講演】 「歴史が教えてくれる日本人の生き方」 講師 白駒 妃登美
平成31年 1月28日	水戸市総合教育研究所	茨城県市町村教育委員会連合会教育部長（事務局長）等研修会 【講演】 『10年後、君に仕事はあるのか？～未来を拓く「情報編集力」の育て方、磨き方～』 講師 藤原 和博

2 教育委員会が管理・執行する事業

(1) 学校教育

少子化に対応し、良質な学校教育を通して、いきいきとした菟っ子を育てます。

事業名	① 教育環境の整備			
めざす姿	○教育施設・設備等の充実が児童・生徒の学力向上につながっています。 ○少子化時代に対応した学校等を適正に配置しています。			
担当課	教育総務課			
実施内容	○教育環境の改善を図るため、秋山小学校キュービクル改修、松岡小学校普通教室照明改修工事、高萩小学校屋内消火栓ポンプ改修工事、高萩中学校自動火災報知設備改修工事、第一幼稚園フェンス設置工事、各小・中学校、第一・秋山幼稚園の空調設備整備、松岡中学校トイレ改修等を行った。 ○新学習指導要領全面実施に向け、ICT教育環境整備を行った。			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	○児童・生徒数の減少と学校施設の老朽化を鑑み、適正な学校規模とより良い教育環境の提供を引き続き検討する必要がある。 ○幼稚園のあり方や施設の耐震化が課題となっているため、検討する必要がある。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 (H32)
適正な規模の小学校の割合	60.0%	60.0%	75.0%	75.0%	75.0%	スムーズな学校運営ができる体制
適正な規模の中学校の割合	25.0%	25.0%	66.6%	66.6%	66.6%	

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○幼小中の教育施設全般について順調な執行状況であることは今後も継続して欲しい。</p> <p>○今後の児童・生徒数の減少については、出生状況や転出入状況を踏まえて具体的な見通しを立て、予算等との関係から園や学校の設置数を見直しする必要があるのではないだろうか。</p> <p>○継続課題である「幼稚園の耐震化」について、建築基準法に合致していないブロック塀撤去に伴いフェンス新設実施にとどまらず、さらなる取組として耐震診断に基づき環境整備に期待するところである。</p> <p>○ICT教育環境整備の実施は、将来を見据えた取組として素晴らしい。</p> <p>○学校施設の老朽化対策を計画推進している。引き続き、定期的に点検を行い安全確保に努めてほしい。</p> <p>○教育環境の整備は、計画的に実施・推進されている。特に、空調設備が整備され、酷暑の時期における教育環境の向上が図られる。</p>
------------------	--

事業名	② 確かな学力の定着			
めざす姿	○基礎・基本が確実に定着されています。			
担当課	学校教育課			
実施内容	<p>○「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」による読書活動を推進した。</p> <p>小学校では県の目標値を大幅に上回る結果となったが、中学校では前年度に比べ読書量が減ってしまった。</p> <p>小学校 4～6年：年間 50冊以上 595人（94.5%） ※平成 29年度 603人（93.8%）</p> <p>中学校 1～3年：年間 30冊以上 87人（13.0%） ※平成 29年度 149人（20.3%）</p> <p>（県の目標は小学校 77%、中学校 23%）</p> <p>○家庭学習については、課題の与え方を工夫したり内容を精選したりなど、各学校において、より実効性のある家庭学習の実現に向けて取り組んだ。</p> <p>○訪問指導を通し、児童・生徒同士の学び合いによる問題解決的な学習を推進させ、主体的・対話的で深い学びを実現するよう指導助言した。その結果、画一的な一斉指導は減ってきている。</p> <p>○思考の可視化に努めさせ、ノート指導を充実させた。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」による読書活動をより一層推進するとともに、図書委員会の活動を活性化させたり、学級対抗形式にして読書量を競わせたりなど、中学校における取組を充実させる。</p> <p>○授業が主体的・対話的で深い学びとなるよう、訪問指導や研修会を通して指導・改善する。</p> <p>○学校ごとに校内ノート展を開催し、学習ノートのグッドモデルを提示することにより、整理されたノート、思考が可視化されたノートなどについて考える機会とする。</p> <p>○中学校資格検定補助事業により、学校全体で検定に対する意欲を高めるとともに、家庭学習の充実を図る。</p> <p>○採用3年目までの若手教員を対象に、授業力向上を目的とした研修を計画的に実施することで、若手教員の資質・能力の向上を目指す。</p>			

主 要 事 業 指 標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 (H32)
学力診断テスト市平均点と県平均点との差	-1.37点	-1.9点	-1.5点	-2.3点	-2.3点	+0.5点
家庭学習を1時間以上行っている児童・生徒の割合	68.4%	64.9%	70.0%	67.5%	72.8%	80.0%
読書が好きな児童・生徒の割合	50.75%	50.8%	54.1%	53.7%	53.8%	65.0%
幼稚園へのALT(外国語指導助手)等派遣回数	3回	3回	3回	14回	10回	6回

<p>外部評価 委員の評価</p>	<p>○家庭学習を1時間以上行っている児童・生徒数の割合が毎年増えていることは、とてもよい傾向で、教員の頑張りがうかがえる。</p> <p>○確かな学力の定着のための具体的な施策が数多く実践され、児童・生徒の力が向上している。今後も継続して実施して欲しい。</p> <p>○「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」の読書量の成果として、小学校4～6年は県目標値より大幅な上昇が見受けられるが、中学校1～3年は昨年より約7%減少し13%である。これは、県目標値の23%を大きく下回っている。再度、施策を検討し上昇に繋げるよう努力が必要だと感じられる。</p> <p>○主要事業指標（総合計画の成果指標）の3項目すべてにおいて、令和2年の目標値に向けて緩い上昇にあるのは素晴らしい。</p> <p>○年間50冊以上の本を読んだ小学生の割合が目標値を超えていることは評価したい。目標値超えを継続する取組を期待したい。</p> <p>○年間50冊以上の本を読んだ中学生の割合が減少傾向にある。図書委員会活動の活性化や学級対抗形式等工夫して推進を期待したい。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、家庭学習の推進・訪問指導等に取り組んできたことを評価したい。今後も工夫した取組に期待したい。</p> <p>○採用3年までに若手教員の資質・能力向上を目指した研修を計画的にすることは重要な取組と考える。授業力向上を支える基盤づくりに期待したい。</p>
-----------------------	--

事業名	③ 豊かな心の育成			
めざす姿	○豊かな心が育まれ、より良い人間関係を築いています。			
担当課	学校教育課			
実施内容	<p>○生徒指導スローガン「み・そ・あ・じ」を市内全体で取り組むよう指導した。(身だしなみ・掃除・挨拶・時間)</p> <p>○ハイパーQ Uアンケートを実施して学級内の人間関係の把握に努めることで、より良い学級づくりといじめ防止につなげた。</p> <p>小学校のいじめ認知件数は241(123)件、中学校の認知件数は57(50)件で、中学校においては昨年度とほぼ同じ認知件数であったが、小学校においてはほぼ倍増となった。これは単にいじめが増えたわけではなく、各学校においていじめ認知に対する意識が高まり、いじめの未然防止・早期発見に努めた結果だと考えられる。主な内容としては悪口やからかい、仲間はずれ、LINEによる悪口、中傷などで、いずれも解消となり、経過観察・指導継続となっている。</p> <p>○道徳の授業の確実な実施を目指し、計画訪問等における道徳の授業参観及び指導助言を通して、読み物資料のあらすじを追う展開からの脱却と「考え・議論する道徳」の実践に努めた。</p> <p>○協働する経験や豊かな体験活動を幼児教育から充実させた。また、園児の遊びを学びにかえる教員からの「問い」の質の向上に努めた。</p> <p>○地域のボランティア活動や行事への参加、特別支援学校との交流、高齢者との触れ合いなど、心の触れ合いの場を積極的に設定して思いやりや助け合いの心を育成した。</p> <p>○授業や帰りの会をはじめ、学校生活全般で児童・生徒の活動を認めたり称賛したりする場を多く設定することで、自己肯定感の高揚に努めた。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○生徒指導スローガン「み・そ・あ・じ」の取組状況については、清掃時の黙働をはじめ学校ごとに特色を打ち出しながら実践している。引き続き校長会や生徒指導主事研修会で確認するとともに、学校訪問により状況を確認して指導する。</p> <p>○個人向けの分析結果の出るハイパーQ Uアンケートを実施し、児童・生徒一人一人にとって居心地のよい学級づくりに一層努める。また、ハイパーQ Uアンケート活用に</p>			

	<p>関する研修会を実施することで分析の精度を高め、一人一人を大切にした学級経営に努める。</p> <p>○児童・生徒と教師のふれあいの時間を増やすことで児童・生徒理解に努め、信頼関係を構築する。</p> <p>○校内研修支援訪問や要請訪問を活用し、質の高い道德の授業実践に向けて研修を充実させる。</p> <p>○学級担任の学級経営力の差が大きいため、授業力向上研修などを活用して指導力向上に努める。</p> <p>○幼稚園においては、計画訪問や指導法研修会を通して、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識した指導の充実について研修する。</p>
--	--

主 要 事 業 指 標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 (H32)
自分にはよいところがある と思う児童・生徒の割合	71.8%	69.4%	73.2%	72.5%	80.2%	79.9%
人の役に立つ人間になりたい と思う児童・生徒の割合	74.8%	75.7%	72.4%	67.6%	74.4%	85.4%

<p>外部評価 委員の評価</p>	<p>○自分にはよいところがあると思う自己肯定感の割合が向上している児童・生徒が増えていることは大変好ましい。今後も継続することを期待したい。</p> <p>○学級経営の力の差を少しでも少なくし高めるために、校内研修や学年研修に力を入れていく方法を工夫して欲しい。</p> <p>○「いじめ」の認知件数が、小学校では昨年の倍の241件が表面化したという捉え方から、今後はいかに対処していくのか方法を模索していく時期に来ていると感じられる。今後の対処法に期待したい。</p> <p>○「いじめ」は人の命にもかかわる重要事項なので、「ハイパーQ Uアンケートの実施によりいじめ防止に繋げる」取組に関して、表面の分析結果からだけでなく、もう一步踏み込み、水面下の問題を推し量るという努力の必要性を感じた。</p> <p>○「考え・議論する道徳」や園児の遊びを通して考えさせる「問い」の質の向上におけた実践は、個々の考えを表現することに繋がる取組が見え素晴らしい。</p> <p>○基本的な生活習慣の確立に向けて、「み・そ・あ・じ」活動を工夫して取り組んでいる。今後も全校で工夫した取組を継続することを期待したい。</p> <p>○ハイパーQ Uアンケートは、人間関係を把握する重要な取組である。アンケート結果を良い学級づくりといじめ防止に役立ててほしい。</p> <p>○授業力向上研修と指導法研修会に計画的に取り組み、指導力の向上を期待したい。</p>
-----------------------	--

事業名	④ 健やかな体力の向上			
めざす姿	<p>○健やかな体を持ち、理想や自己の目標に向かって努力する強い意志を持っています。</p> <p>○安全でおいしい給食が提供されています。</p>			
担当課	教育総務課・学校教育課			
実施内容	<p>○体カテストの結果を分析し、落ち込みの見られる項目を授業冒頭のサーキットトレーニングに組み込んだり、部活動で強化したりするなどの手立てを講じた。</p> <p>幼稚園教育の中で、小中学校で課題の見られる投力や瞬発力を向上させる遊びを意図的・計画的に取り入れた。</p> <p>○各中学校では、運動部活動の充実が図られ、生徒の自主性・主体性を高める運営に努めた。</p> <p>○「高萩市運動部活動の運営方針」及び各学校の運営方針に則った部活動運営を基本とし、適正な時間管理の下、合理的でかつ効率的・効果的な部活動運営に努めた。しかし、依然として一部の顧問に行き過ぎた指導も見られる。</p> <p>○心臓及び尿検査については、個人の病歴によるものが大きいと考えられるが、生活習慣改善の教育等を通して、要精密者の減少につなげた。</p> <p>○児童・生徒に必要な栄養を確保するために適量を提供しているが、近年の児童・生徒の偏食などにより残食率は横ばい傾向となった。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○児童・生徒の体力向上については、課題の見られる運動能力の向上に努める。また、民間スポーツクラブとの連携による水泳学習、体育的行事、部活動、スポーツチャレンジ等を通して運動への興味関心を高める。</p> <p>○部活動指導員の配置を推進するとともに、指導員の効果的な活用や望ましい部活動指導の在り方等について、教員及び指導員対象の研修を実施する。</p> <p>○中学校の運動部の活躍に対し、県大会以上の大会に出場する際に交付する「ジュニア萩っ子各種大会応援補助金」により、今後も、市全体で萩っ子を支援していく。</p> <p>○学校給食における残食率改善については、今後、栄養教諭を活用した「食育」を更に推進し、各小・中学校と連携し残食を減らすよう努める。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 (H32)
児童・生徒体カテスト (A、B評価の割合)	63.7%	59.0%	64.6%	66.6%	66.6%	65.0%
学校給食の残食率	21.0%	21.4%	19.8%	19.5%	19.7%	19.0%

外部評価 委員の評価	<p>○体カテストのA・B評価の割合が目標値を超え、継続して高い数値を維持していることは、教員の方々の努力のたまものだと思う。体力があつての知力であり、今後も引き続き努力をお願いしたい。</p> <p>○行き過ぎた指導の改善のため、是非、教員の人権意識向上のための研修を実施して欲しい。</p> <p>○継続的に幼稚園教育の中で、意図的に遊びを通して児童・生徒の課題となっている投力・瞬発力向上に努めたことは指導者間の連携を感じた。しかし、体カテストのA・B評価割合が昨年同様である。今後、関連担当者の更なる努力を期待したい。</p> <p>○栄養教諭筆頭に「日本の味めぐり」として月2度の献立等は、学校給食の残食率軽減のための努力が見える。児童・生徒のアレルギー体質や偏食で難しいであろうが、更なる努力に期待したい。</p> <p>○体カテストでA・B評価の割合目標値を超えている。結果を分析して工夫をした取組の成果と考える。今後も工夫して取り組むことを期待したい。</p> <p>○「高萩市運動部活動の運営方針」について、教員及び指導員を対象に研修を行い、生徒へ豊かなスポーツライフ育成を期待したい。</p>
---------------	--

事業名	⑤ 開かれた学校運営			
めざす姿	○地域の子どもたちの成長・発達を保育所、幼稚園、小学校、中学校と家庭、地域がお互いに連携して取り組んでいます。			
担当課	学校教育課			
実施内容	<p>○校種間連携事業「ユニット4」(10年以上続けている事業)により小学校区ごとにユニット事業を推進し、保幼小中が連携した学校行事や授業の交流を行った。</p> <p>○はぎッズサポーターの活用を通し、地域とともにある学校づくりを進めた。子どもたちは多様なサポートにより学習を充実させることができた。</p> <p>○教育を考える集いや地域連携コーディネーター研修において、秋山コミュニティ・スクールの実践に関する事例発表を行い、教職員や保護者への啓発に努めた。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○コミュニティ・スクールの全校導入に向け、校種間連携事業を「ユニット3」に変更し、ねらいを明確にした交流ができるようにする。</p> <p>○各学校に地域連携コーディネーターを配置し、学校・家庭・地域社会が相互に連携・協力した教育を推進する。</p> <p>○コミュニティ・スクールをより一層推進するとともに、その趣旨等の理解を図るための研修を実施するなど、全校導入に向けた取組の充実を図る。</p> <p>○地域連携コーディネーターを中心に、はぎッズサポーター等の地域人材の活用を充実させ、本物を見せる授業、地域と協働して子どもたちを育てる学校づくりを推進する。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 (H32)
学校・家庭・地域が連携して教育がなされていると思う市民割合	29.4%	—%	—%	—%	—%	46.3%
豊かな心を育み、萩っ子が生き生きと育つ学校教育が推進できていないと思う市民の割合	13.0%	—%	—%	—%	—%	7.7%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

<p>外部評価 委員の評価</p>	<p>○コミュニティ・スクールの先進的な取組が実践されていることは、とても素晴らしいことだと思う。今後も継続していただくことを期待している。</p> <p>○高萩市独自の取組が、職員の異動により継続性が損なわれることのないよう、各学校での研修や市教委としての啓発活動を充実して欲しい。</p> <p>○はぎッズサポーター活用を通して地域と密着し、多様なサポートにより学習の充実に繋げた成果は高く評価したい。</p> <p>○はぎッズサポーターを活用した活動は、前年度より54人増加し、地域とともにある学校づくりは、高齢者から多くを学び、成果を評価したい。継続推進を期待したい。</p> <p>○秋山コミュニティ・スクールの実践に関する成果を水平展開したことは重要な取組と評価する。今後の全校導入に向けた取組に期待したい。</p>
-----------------------	--

(2) 生涯学習

自分に合った手段や手法で学び、それを活かして生活し、充実感を得られるよう生涯学習を推進します。

事業名	① 生涯学習機会の充実			
めざす姿	○国際化や情報化社会など直面している課題への取組や一人ひとりの状況に応じたきめ細かな学習機会が提供され、人と人との連携や世代間交流が拡大しています。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○生涯学習情報誌「学びいきいき高萩 2018」を作成（550部）し、関係機関へ配付した。</p> <p>○地域の人材であるはぎッズサポーターの活用により、地域社会と学校との連携を図った。（延べ473人活動）</p> <p>○市民団体等との連携により「いきいき萩っ子育成事業」を実施し、子どもから高齢者まで交流できる機会を設けた。（「カレンダーを作ろう」「ひな人形を作ろう」）</p> <p>○子ども向けの講座や短期講座など、市民のニーズに合った講座を新たに開設した。</p> <p>○青少年相談委員協議会や子ども会育成連合会と連携し、体験活動を実施した。（「サマージャンボリー」「少年探検講座」「萩っ子歴史探検隊」）</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○複数あるボランティア組織の整理と効果的な活用を図る。</p> <p>○協働のまちづくりに向けた人材の把握に努める。</p> <p>○学校教育支援体制の整備を図る。</p> <p>○市民ニーズの把握及び事業化（講座開設等）に取り組む。</p>			

主要事業指標 （総合計画の成果指標）	基準値 （H26）	H27	H28	H29	H30	目標値 （H32）
生涯学習機会が充足していると思う市民割合	16.1%	－%	－%	－%	－%	25.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○生涯学習課と学校教育課の連携をより図るためにも、学校教育における幼保小中各段階における具体的な生涯学習の機会を計画して欲しい。</p> <p>○学校だけが児童・生徒等の学習の機会であるという考えではなく、生涯学習の一つとしての学校教育という捉え方を教職員に定着させる方法を考えて欲しい。</p> <p>○地域人材活用による地域社会と学校の連携、市民団体等との連携による体験活動は、素晴らしい事業だと高く評価したい。</p> <p>○高齢化社会を迎え、生涯にわたり学べる環境の整備は重要である。情報をホームページ等で広報するよう検討してほしい。</p> <p>○はぎッズサポーターを活用した活動(前年度より54人増加し473人)は、活発な状況で評価できる。引き続き、学校と地域の人々が相互理解や信頼関係を深めて連携強化した取組に期待したい。</p>
------------------	---

事業名	② 生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興			
めざす姿	○創意工夫を活かした特色ある講座やスポーツ、レクリエーションなど様々な事業が展開され、子どもから高齢者まで多くの市民が年齢や体力に応じ気軽にスポーツに親しんでいます。			
担当課	生涯学習課・国体推進課			
実施内容	<p>○市内小中学校の体育館やプール等の体育施設を学校教育に支障のない範囲内で市民へ開放を行った。</p> <p>学校体育館の開放については、空きがなく、利用団体間で調整を行い利用できた。高萩小学校のプールにおいて、カヌー教室を実施した。</p> <p>○市長杯争奪軟式野球大会、歩く会、たかはぎ駅伝等を実施し、多くの市民が参加した。市庁舎が完成したことで、駅伝は市役所をゴールとして実施をし、また歩く会は、新たなコースとして市役所を発着として実施をした。</p> <p>○「ふれあい スポーツフェスティバル」では、スタンプラリーを実施した。</p> <p>○国民体育大会本県開催に向け、地元から優れた人材を発掘するため、茨城県ウエイトリフティング協会副会長 福田太公氏を講師として小・中学生を対象としたウエイトリフティング教室を実施した。</p> <p>年々ウエイトリフティング教室の参加者が増加し、インターハイや中学生の全国大会に出場している。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○「ふれあい スポーツフェスティバル」のスタンプラリーを継続し、新たな内容を検討する。</p> <p>○公道で実施している歩く会及びたかはぎ駅伝については、参加者の安全確保に努める。</p> <p>○ウエイトリフティング競技力の向上を図る。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 (H32)
各種スポーツイベント等への参加者数	3,454人	－人	－人	－人	－人	3,500人
週1回以上スポーツを行っている市民割合	26.3%	－%	－%	－%	－%	30.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

<p>外部評価 委員の評価</p>	<p>○生涯学習課や国体推進課の具体的な講座やレクリエーションなど様々な事業が展開され効果をあげているので、今後も続けて欲しい。</p> <p>○高萩小学校プールにおけるカヌー教室の二日間で延べ70名参加者での実施は、取組の成果が上がっているように見え高く評価したい。今後も、期待したい取組である。</p> <p>○グラウンドや体育館等開放は、多くの団体が調整を行い利用している。引き続き、スポーツ活動への参加を促進し、体づくり、健康増進のため、多くの団体が利用できるよう開放をお願いしたい。</p> <p>○各種スポーツ大会やレクリエーションは、スポーツ活動を楽しみながら健康増進を図る効果がある。今後も積極的に開催・推進することをお願いしたい。</p> <p>○国民体育大会に向けてウエイトリフティング教室等活発に取り組まれた。茨城県開催での活躍を期待したい。</p>
-----------------------	--

事業名	③ 社会教育施設の整備と活用			
めざす姿	<p>○市民のニーズに合った適正配置が進み、管理体制が整い市民に愛される施設として有効活用されています。</p> <p>○広い市域に分散している社会教育施設の老朽化に伴い、統廃合や整備、適正な規模の確保並びに配置に努め、有効活用されています。</p>			
担当課	生涯学習課・国体推進課			
実施内容	<p>○各施設の老朽化による照明器具不具合、エアコン故障等の修繕を実施した。</p> <p>○文化会館においては、防犯カメラを設置した。また、空調設備、照明設備の改修工事に着手した。</p> <p>○市民体育館において特定建築物定期点検業務を実施し施設の維持管理に努めた。また防犯カメラを設置し犯罪の抑止力強化を図った。</p> <p>○市民体育館の雨漏り修繕を部分的に実施した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○全施設において、老朽化が進んでおり、計画的な改修及び修繕が必要である。</p> <p>○文化会館の空調設備、照明設備改修工事は、令和元年度に繰り越し、5月末までの工期で工事を進めている。</p> <p>○市民体育館屋根の老朽化による雨漏りについては、引き続き、随時、修繕により対応していく。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 (H32)
社会教育施設の平均稼働率	87.0%	87.7%	86.5%	86.2%	82.0%	90.0%

<p>外部評価 委員の評価</p>	<p>○各施設の老朽化が目立っている中で必要性の高い順に取り組んでいる様子がかがえる。生命に関わる内容を優先して、取り組まれることを期待している。</p> <p>○社会教育施設の平均稼働率が年々減少しているが、中でも「リーベロ」は約100%の稼働率とのこと。他施設との相違点を究明し、単に老朽化が一原因であるなら早急に改修・修繕し有効活用されたい。</p> <p>○全施設の点検を定期的に行い、安全・安心な施設管理運営をお願いしたい。また、各施設の老朽化対策については、計画的に改修・修繕の継続をお願いしたい。</p> <p>○文化会館と市民体育館への防犯カメラの設置は、犯罪の抑止効果があるとともに安全で安心して暮らせるまちの実現に有効なことと評価する。今後も計画的な設置をお願いしたい。</p>
-----------------------	---

(3) 市民文化

多様な文化に触れ、心豊かに暮らせるよう、伝統文化・芸術文化・国際交流などの市民活動を推進します。

事業名	① 芸術文化の振興			
めざす姿	○市民や文化協会等の自主的な芸術文化活動への支援が充実していることから、市民のニーズの変化に合った魅力あるイベントが開催され、質の高い芸術・文化に触れる機会が充足しています。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	○文化祭や子ども文化教室一日体験講座等を実施し、文化に親しむ機会を提供した。			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	○文化団体構成員の高齢化による文化協会脱会がみられるため、若年層の取り込みが必要。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 (H32)
文化祭等事業への参加者数	6,238人	－人	－人	－人	－人	6,650人
芸術・文化活動の機会の充足度	59.5%	－%	－%	－%	－%	65.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

外部評価 委員の評価	<p>○高齢化や人口減少に伴う社会情勢の変化により、芸術文化の振興方法も変わってきている状況なので、変化に対応した講座等の実施が必要な時期になってきていると思う。</p> <p>○文化祭や子ども文化教室一日体験講座の実施は、将来世代の子ども達が芸術文化に触れる良い機会だと高く評価したい。</p> <p>○子ども文化教室一日体験講座は、表現や創造の喜びを感じ、豊かな感性を育む重要な取組。継続しての推進をお願いしたい。</p> <p>○芸術文化振興プランの推進を図るとともに、市民の芸術文化活動の支援を引き続きお願いしたい。</p>
---------------	--

事業名	② 文化財の保護・活用			
めざす姿	○郷土の貴重な文化財を保存・伝承するとともに展示や広く周知することにより、市民の文化財に対する関心が高まり、親しむ機会も増えています。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○市内文化財の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穂積家住宅の下水道接続工事を行い、衛生環境の向上を図り適正管理を行った。 ・文化財の利活用として、古民家レストラン、手作りひな人形まつりを実施した。 <p>穂積家住宅の年間来場者数 16,187人 (うち、レストラン期間入場者 10,307人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/21～9/2・10/7～12/2：古民家レストラン ・2/18～3/3：手作りひな人形展示 			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○穂積家住宅の茅葺屋根葺き替えの必要性について検討する（前回葺き替え後17年経過 H22年度一部補修。）。</p> <p>○穂積家住宅衣裳蔵外部漆喰修繕の必要性について検討する。</p> <p>○安良川八幡宮爺杉の適正管理について検討する。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 (H32)
市内の文化財に親しんでいる市民の割合※	62.3%	—%	—%	—%	—%	65.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

<p>外部評価 委員の評価</p>	<p>○郷土の特色である市内文化財の広報活動には継続して取り組む必要を感じている。(広報紙に「郷土の文化財の紹介」コーナーを設けるなど) 地元の文化財を知ることは、文化財の保護・活用につながると思うので。</p> <p>○穂積家住宅来場者数は、毎年減少している。しかし、レストランの期間入場者は約1万人と定着している。このことを踏まえて、集客に向けた手立てを考えて欲しい。</p> <p>○穂積家住宅の年間来場者は2年連続(約5,500人)減少している。古民家レストランの運営状況等の検証を行い、穂積家住宅の利活用の充実をお願いしたい。</p> <p>○高萩市には、多くの国・県・市指定文化財がある。計画的な管理と広報をお願いしたい。</p>
-----------------------	---

事業名	③ 市民による国際交流推進			
めざす姿	○市内外の外国人や外国文化と交流を行う人が増加しています。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	○高萩市国際交流協会事業 <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流の集い 都内大学留学生 17 人のホームステイを実施 ・文化交流会 9 年間の在外教育施設勤務を通して（高萩市教育委員会教育長 大内 富夫先生） ・海外派遣事業 市内中学生 4 人をハワイへ派遣 高萩高等学校海外研修プログラム共催 5 名をオーストラリアへ派遣 			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	○国際交流の集い事業の見直しを行う（ホストファミリー確保が困難。）。 ○海外派遣事業の見直しを行う（応募者の減・派遣先の受け入れ態勢に問題あり。）。 ○市内在住の外国人との交流事業を企画する。			

主要事業指標 （総合計画の成果指標）	基準値 （H26）	H27	H28	H29	H30	目標値 （H32）
過去 2 年以内に市内外の外国人や外国文化と交流している又は交流したことがある市民割合	10.0%	-	-	-	-	10.0%

※第 5 次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

外部評価 委員の評価	<p>○昨年度に比べ、評価が「ほぼ順調」から「横ばい」に変化してきた原因として考えられることを明らかにしていく必要を感じている。</p> <p>○国際交流協会の本来の役割を再考して、市としてできるとに取り組むことが大切だと思う。</p> <p>○今後は、市内在住の外国人との異文化交流などに期待したい。</p> <p>○国際交流の集いは、ホストファミリー確保が困難のなか実施したことを評価したい。今後の取組の見直しに期待したい。</p> <p>○市民の国際化意識を高める、市内在住の外国人との交流事業企画に期待したい。</p>
---------------	---

(4) 人権

市民一人ひとりの人権が尊重されるまちを構築します。

事業名	① 学校における人権教育の推進			
めざす姿	○学校教育や生涯学習などの場において人権教育が実施され、差別や偏見がなく、人権の尊重についての理解が深化しています。			
担当課	学校教育課			
実施内容	<p>○各学校において人権教育推進全体計画を作成し、人権尊重の視点に立った学校づくりを行った。</p> <p>○人間関係のトラブルに関する生活指導や生徒指導の場面で、相手の立場や気持ちを考えさせる指導を行っている。また、学期に1回以上の生活アンケートの実施により、いじめやトラブルの早期発見に努めた。</p> <p>○児童・生徒による「人権メッセージ」作成、人権啓発ビデオ・「みんなえがお」(人権教育指導資料)を用いた教員研修、情報モラル研修などにより、人権感覚を高めるように努めた。</p> <p>○松岡小中学校において、県指定事業「いじめストップ絆づくりプロジェクト」を受け、弁護士を招いていじめ行為の法律上の扱いについてパネルディスカッションを行ったり、各学級で人権を守ることの重要性について話し合ったりと、小中学校が連携していじめの予防教育を推進した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○悪口やからかいなど、いじめに当たる行為はなくなっていない。引き続き、教育活動全体を通して人権意識を高めるとともに、道徳の授業において人権尊重の意識を高め、様々な体験活動を通して実践力を高める指導を充実させる。</p> <p>○17項目の人権課題に対して、知識として学ぶだけでなく、日常生活において態度や行動に表れるような人権感覚の涵養に努める。</p>			

主 要 事 業 指 標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 (H32)
学校教育や生涯学習などの場において人権教育が実施され、差別や偏見がなく、人権の尊重についての理解が深化している。	76.8%	78.6%	83.9%	78.8%	88.0%	87.5%

外部評価 委員の評価	<p>○学校教育課の具体的な「取組内容と成果」については、今後も継続して推進して欲しい。</p> <p>○教員の人権意識の向上を図るための研修の必要性を感じている。教職員の人権意識が児童・生徒の人権意識の変化・向上に大きく関わると感じている。</p> <p>○「悪口やからかいなど、いじめに当たる行為は無くなっていない。」と昨年同様、今後の取組が挙げられているが、その課題解消のための取組に変化がないように感じられる。課題解消に向けて手立てを考えて欲しい。</p> <p>○教職員自身が人権問題に関する基本的な知識と感覚、意識・態度等を養う研修を行い、人権教育に取り組んでいることを評価したい。自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる人権感覚の育成をお願いしたい。</p> <p>○学期に1回以上のアンケートを教職員が情報を共有し、討議・分析していじめやトラブルの早期発見に取り組んでいる。継続しての取組をお願いしたい。</p>
---------------	---

Ⅲ 外部評価委員会委員の意見

- 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書」のまとめ毎年大変ご苦勞様です。実質的な評価としては、行事を実施したその都度、参加者から意見をいただく方法があります。具体的な状況把握がしやすくなるかと思います。
- 8～9割がた、前年度の点検内容と重複しています。(文言も同じ)この点は、毎年点検項目が同じなので仕方ないところですが、「取組内容と成果」の項目では、「・・・に努めた。」で終わっている場合が多いので、「その結果・・・となった。」という成果にも触れるとよいと思います。
- 「主要事業指標(総合計画の成果指数)」の数値が4年間整っていない状況の項目については、他の成果指数を考えてみる必要があるのではと思います。
- 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書」の事業の取組を高く評価し、更なる高萩市の発展・向上に期待します。
- 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書」の事業の取組は、各担当課を中心に計画を立て確実に推進・実践していることを評価します。
- 点検及び評価について、実施項目に評価指標を設定し点検・評価を行うことにより、評価が容易にできます。また、P D C Aサイクル(計画-実施-評価-改善検討)の実効性を高めます。評価指標を設定し点検・評価の検討をお願いします。

IV 参考資料

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。